

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月24日

上場会社名 株式会社カインス

上場取引所 東

 コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 黒谷理 TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成26年2月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,295	8.4	253	43.8	249	45.8	163	58.9
25年3月期第3四半期	3,962	12.5	176	15.2	170	13.9	102	30.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	36.65	—
25年3月期第3四半期	23.06	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	6,116	—	3,054	—	49.9	686.17	—	
25年3月期	6,085	—	2,914	—	47.9	654.73	—	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,054百万円 25年3月期 2,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.2	300	20.2	293	16.4	185	20.2	41.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	4,558,860 株	25年3月期	4,558,860 株
26年3月期3Q	107,697 株	25年3月期	107,337 株
26年3月期3Q	4,451,363 株	25年3月期3Q	4,451,579 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報	1
	(1) 経営成績に関する説明	1
	(2) 財政状態に関する説明	1
	(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
	(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
	(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等	2
4	四半期財務諸表	3
	(1) 四半期貸借対照表	3
	(2) 四半期損益計算書	4
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
	(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
	(継続企業の前提に関する注記)	6
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
	(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、金融緩和策や景気浮揚策等の財政対策効果及び円安の影響等により堅調に推移してまいりました。

一方、海外においては、米国経済は緩やかな回復具合を示しておりますが、欧州経済の脆弱さや新興国経済の減速影響等により、依然、不透明な状況にあります。

臨床検査薬業界におきましては、平成24年4月に実施された診療報酬改定の影響は軽微なものに留まりましたが、国の医療費抑制政策及び市場における価格競争等の厳しい環境は継続しており、第2四半期に引き続き収益確保のための対策を続けてまいりました。

このような環境の下、当第3四半期累計期間の売上高につきましては、42億9千5百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、前事業年度に引き続き腎機能検査薬と糖尿病検査薬が堅調な推移を示したことにより13億2千2百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

免疫分野におきましては、輸血検査薬及びアレルギー診断薬等が堅調に推移したことにより26億7千8百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

また、その他の分野におきましても、機器関連等が堅調に推移したことにより2億9千3百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

この結果、営業利益につきましては、2億5千3百万円（前年同期比43.8%増）、経常利益につきましては、2億4千9百万円（前年同期比45.8%増）となり、四半期純利益につきましては、1億6千3百万円（前年同期比58.9%増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第3四半期累計期間 〔自平成24年4月1日 至平成24年12月31日〕		当第3四半期累計期間 〔自平成25年4月1日 至平成25年12月31日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	1,151,964	29.1	1,251,057	29.1
	免疫血清学的検査用試薬	275,575	7.0	439,524	10.2
	そ の 他	251,760	6.4	271,332	6.3
	計	1,679,300	42.4	1,961,914	45.7
商 品	生化学的検査用試薬	71,677	1.8	71,940	1.7
	免疫血清学的検査用試薬	2,191,656	55.3	2,239,269	52.1
	そ の 他	20,135	0.5	22,422	0.5
	計	2,283,470	57.6	2,333,632	54.3
合 計	生化学的検査用試薬	1,223,642	30.9	1,322,997	30.8
	免疫血清学的検査用試薬	2,467,232	62.3	2,678,794	62.4
	そ の 他	271,895	6.9	293,755	6.8
	計	3,962,770	100.0	4,295,546	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の額は、61億1千6百万円となり、前事業年度末と比べ3千1百万円の増加となりました。流動資産は、29億6千5百万円となり、前事業年度末と比べ5千7百万円の増加となりました。その主な要因は、商品及び製品4千3百万円、原材料及び貯蔵品4千4百万円がそれぞれ減少したものの、その一方で、現金及び預金1億3千9百万円、受取手形及び売掛金1千7百万円がそれぞれ増加したことによります。固定資産は31億5千1百万円となり、前事業年度末と比べ2千6百万円の減少となりました。その主な要因は、笠間工場の製造設備及び分析機器など有形固定資産の取得4千9百万円、人事ソフトの更新などによる無形固定資産の取得2千2百万円があったものの、その一方で減価償却費1億1百万円を計上したことなどにより減少しております。

当第3四半期会計期間末における負債の額は、30億6千2百万円となり、前事業年度末と比べ1億

8 百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金長期借入金からの振替及び調達により 1 億 7 千 7 百万円増加したものの、その一方で支払手形及び買掛金 1 億 2 千 2 百万円、未払法人税等 7 千万円及び長期借入金 1 億円などがそれぞれ減少したことによります。

当第 3 四半期会計期間末における純資産の額は、30 億 5 千 4 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 3 千 9 百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金の支払い 3 千 3 百万円があったものの、その一方で、四半期純利益 1 億 6 千 3 百万円を計上したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は 7 億 9 千 4 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 3 千 9 百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は 1 億 4 千 2 百万円の増加 (前年同期は 1 億 4 千 6 百万円の増加) となりました。その主な増加要因は、仕入債務の減少 1 億 2 千 2 百万円、売上債権の増加 1 千 7 百万円、賞与引当金の減少 2 千 1 百万円、法人税等の支払額 1 億 2 千 9 百万円などの支出により減少したものの、その一方で、税引前四半期純利益 2 億 4 千 7 百万円、減価償却費 1 億 1 百万円、たな卸資産の減少 7 千 6 百万円などの収入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は 2 千 5 百万円の支出 (前年同期は 7 千万円の支出) となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得 2 千 3 百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は 2 千 1 百万円の収入 (前年同期は 1 億 1 千 1 百万円の収入) となりました。その主な増加要因は、配当金の支払額 3 千 3 百万円、その他 2 千 2 百万円などの支出があったものの、その一方で、短期借入金の増加 9 千万円の収入によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後における国内経済は、これまでの財政対策効果に加え、消費税率の引上げによる駆け込み需要も見込まれており、緩やかではありますが回復基調は継続するものと思われれます。

このような状況の下、当社の通期における業績につきましては、流行に左右されやすいインフルエンザをはじめとした P O C T 関連試薬の不透明さはあるものの、腎機能検査薬と糖尿病検査薬等は堅調に推移することを予想しております。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995,530	1,134,723
受取手形及び売掛金	1,346,405	1,363,589
商品及び製品	249,266	205,446
仕掛品	67,419	78,545
原材料及び貯蔵品	164,065	119,861
その他	87,480	65,809
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,907,268	2,965,074
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	787,367	763,292
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	183,788	167,840
有形固定資産合計	2,822,609	2,782,585
無形固定資産	37,860	47,772
投資その他の資産	317,268	320,858
固定資産合計	3,177,738	3,151,216
資産合計	6,085,006	6,116,290
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,107,885	985,717
短期借入金	972,500	1,150,000
未払法人税等	87,289	17,246
賞与引当金	109,000	87,200
その他	288,401	323,421
流動負債合計	2,565,075	2,563,586
固定負債		
長期借入金	500,000	400,000
その他	105,382	98,429
固定負債合計	605,382	498,429
負債合計	3,170,458	3,062,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,221,619	1,351,359
自己株式	△90,302	△90,510
株主資本合計	2,891,464	3,020,995
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,083	33,279
評価・換算差額等合計	23,083	33,279
純資産合計	2,914,548	3,054,274
負債純資産合計	6,085,006	6,116,290

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	3,962,770	4,295,546
売上原価	2,660,327	2,842,205
売上総利益	1,302,443	1,453,341
販売費及び一般管理費	1,125,879	1,199,393
営業利益	176,563	253,947
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,682	6,025
受取賃貸料	5,229	4,143
その他	6,464	6,511
営業外収益合計	17,376	16,680
営業外費用		
支払利息	16,423	13,743
手形売却損	714	799
為替差損	1,840	4,533
賃貸費用	1,342	43
その他	2,810	2,489
営業外費用合計	23,131	21,608
経常利益	170,808	249,018
特別損失		
固定資産除却損	301	1,035
特別損失合計	301	1,035
税引前四半期純利益	170,507	247,983
法人税、住民税及び事業税	54,645	62,556
法人税等調整額	13,200	22,300
法人税等合計	67,845	84,856
四半期純利益	102,662	163,126

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	170,507	247,983
減価償却費	118,304	101,618
売上債権の増減額 (△は増加)	△81,533	△17,183
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△75,951	76,898
仕入債務の増減額 (△は減少)	64,089	△122,168
その他	23,702	△8,688
小計	219,118	278,460
利息及び配当金の受取額	6,185	6,596
利息の支払額	△14,666	△13,175
法人税等の支払額	△63,947	△129,537
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,690	142,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△53,999	△23,290
無形固定資産の取得による支出	△17,839	△900
定期預金の預入による支出	—	△100,000
定期預金の払戻による収入	—	100,000
その他	1,051	△867
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,787	△25,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	240,000	90,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△379,080	△112,500
配当金の支払額	△33,153	△33,522
その他	△16,310	△22,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	111,455	21,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	89	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	187,448	139,192
現金及び現金同等物の期首残高	509,736	655,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	697,184	794,723

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。